

Aguri「2008公演&和太鼓ワークショップ」

公演日程

日時 3月1日(土) 開場 18:00 開演 18:30
 会場 文化交流センター 多目的ホール
 出演 EPO(ヴォーカル) 金子竜太郎(和太鼓)
 嵯峨治彦(馬頭琴・喉歌)

【チケット料金】

一般 2,000円(当日2,500円)
 高校生以下 1,000円(当日1,500円)
 未就学児のご入場はできません。(託児あり、要予約)
 駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

【チケットセンター】

文化交流センター、役場鬼鹿支所・達布支所、セブンイレブン小平店、ローソン鬼鹿店、吉崎レコード店、さしかわ楽器店、喫茶店ビューネ、FMもえる、管内各教育委員会

お問合せ

文化交流センターサポーターズクラブ事務局
 TEL 5 6 - 9 5 0 0 FAX 5 6 - 9 5 5 5
 E-mail obira@hokkai.or.jp HP http://www.o-sc.net/

チケット
好評発売中



金子竜太郎・和太鼓ワークショップ

日時 3月2日(日) 17:00より
 会場 文化交流センター 多目的ホール
 講師 金子竜太郎(和太鼓)
 参加料 1,000円(定員20名)
 持ち物 当日、太鼓(長胴、桶胴)、撥、参加料、運動着を持参ください。
 太鼓を持参できない方はご連絡ください。
 申込み 2月15日(金)までにお申込みください。

かるやかクラブ「パワーヨガ」参加者募集

今話題の「パワーヨガ」! ヨガのポーズと呼吸法をマスターして、ゆがんだ身体を矯正しましょう! 「パワーヨガ」で流れるボディーに!
 と き 2月14日、21日、28日、3月6日
 18時~20時30分
 ところ 小平町文化交流センター 小ホール
 講師 広島 裕子氏(留萌市温水プールぶるも)
 定員 30名(定員になり次第締め切ります)
 参加料 300円

お問合せ 海洋センター Tel・Fax: 59 - 1216

第2回 アルpensキー教室参加者募集

日時 平成20年2月12日(火)~13日(水)
 18時~20時30分(17時45分より受付)
 場所 小平町望洋台スキー場
 指導者 小平町体育指導委員
 対象者 町内小学生
 参加料 500円(保険については各自にて加入願います。)
 申込み 2月8日(金)までに海洋センターまで申込み下さい。

お問合せ 海洋センター(木村) Tel・Fax: 59 - 1216
 E-mail syakyo_bg01@town.obira.lg.jp

小平郷土資料通信 No.30

ふたたび注目を集める小平町「高砂遺跡」

旭川市立博物館瀬川拓 氏の著書『アイヌの歴史 - 海と宝のノマド』によって、小平町高砂遺跡がふたたび脚光を集めつつあります。

高砂遺跡は、小平薬川を遡上する大量のサケと前浜に押し寄せるニシンを生業としていたと考えられてきました。しかし、瀬川氏によればアイヌの「干鮭(からさけ)」は産卵場近くまで遡上し脂肪分が抜けたものであり、河口部のサケを商品化できるようになるのは近世になって本州から塩が移入され「塩引」が作られるようになってからだと指摘し、海から2kmほど内陸にある高砂遺跡は漁村ではなく、「船着場集落」とみるべきではないかと指摘します。また、高砂遺跡を含む日本海に面した遺跡からは、土器の底部に文様を刻む「刻印土器」がみついています。この刻印は、アイヌが漆器の椀の底に刻む「イトクパ」に類似すると考えられてきました。こうした刻印は「×」「+」など、道北から道南にかけて共通する単純な基本文様があります。瀬川氏は「刻印土器」をもつ日本海沿岸の人々は祖先を共通とする人々で、「日本海交易集団」と呼んでいます。

瀬川氏は高砂遺跡の住人を含んだ「日本海交易集団」は鷹羽や青玉(大陸製のガラス玉)など大陸やサハリンからの製品流通に関わっていたと考えています。同書では他にも、高砂遺跡についての説得力ある新説が展開されており、図書館でも貸し出ししています。

高砂2遺跡出土の青玉
アイヌ女性の首飾り(タマサイ)に使われる。オビラウシ所蔵



高砂遺跡の刻印土器の文様(拓本)オビラウシ所蔵

2月の古文書解読講座の予定
5日・22日に実施します